

B調査の中間報告

1. 調査目的

受水槽内の残留塩素濃度が0になるまでの状況を確認した。

2. 調査期間

(一回目) 平成24年7月13日(金)～7月29日(日) 17日間

(二回目) 平成24年7月30日(月)～8月20日(月) 22日間

3. 調査箇所

(1) 施設名: 県有廃寮施設

(2) 有効容量: 4.5m³ (10.5m³の内の1槽を使用)

(3) 材質: FRP

(4) 設置場所: 屋外・地上式

4. 調査方法

(1) 電極: 受水槽内に投げ込み用電極を設置

(2) 測定項目: 残留塩素濃度・水温 (残留塩素計)

(3) 測定頻度: 1時間に1回

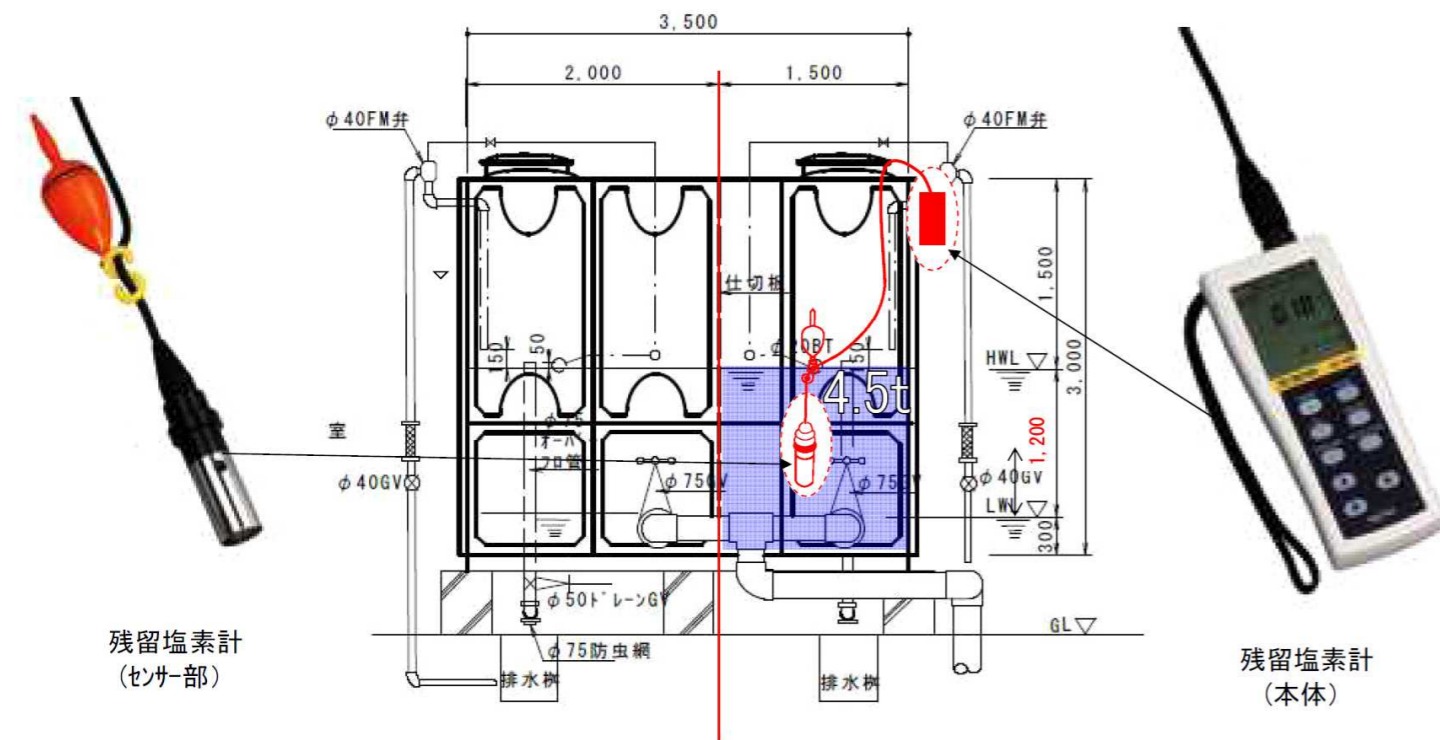


図. 1 B調査の概要

5. その他

- ・受水槽は、使用停止から1年以上が経過していたが、内部の清掃は行わずに調査を行った。
- ・注入した水は、高度処理と通常処理のブレンド水。

6. 調査結果

一回目の調査は約16日間で、二回目の調査は約21日間で受水槽内の残留塩素濃度が0になった。

